

居間 theater × 地理人 台東区・西京市 同時開催芸術祭『Fiction』

主催 居間 theater

日時 第1回空想都市会議(トークイベント) 平成29年11月28日(火)

Fiction インフォメーションセンター(お披露目イベント) 平成30年3月20日(火)

会場 HAGISO(谷中3-10-25)、TAYORI(谷中3-12-4)

この企画は、谷中の最小文化複合施設 HAGISO を拠点に活動するパフォーマンスプロジェクト「居間 theater」と空想地図を制作する今和泉隆行(地理人)との協働企画で、現実の都市・東京と空想の都市・西京という、二つの都市で同時開催する『空想型芸術祭』を制作・披露しました。

居間 theater が芸術祭を体験するための音声作品を、地理人が架空の都市「西京(さいきょう)市」の地図を制作し、ひとつの作品として発表するため、ともにリサーチをおこない、プロセスを共有しながら進行し、互いの側面・切り口から、相互に影響を与えながら作品制作を進めてきました。

◎「空想型芸術祭『Fiction』」とは…

現実都市・東京-台東区と、空想都市・西京にて、2018年3月20日から同時開催。

この芸術祭は、都市に住む・働く人、都市にいる人のための芸術祭。空想都市・西京市では想像の街のなかで東京では現実の街のなかで、音声を体験できます。作品は音声のみのため、会期はありません。音声を片手に、想像力で体験する芸術祭。



◎「西京(さいきょう)市」とは…

空想地図作家・今和泉隆行(地理人)が、「中村(なごむる)市」の次の段階を目指し制作する新作空想地図。「台東区」という街の要素を持ちつつ、別の街かもしれない、どこかの街かもしれない。そんな現代都市の姿を映し出す架空の地図。

■第1回 空想都市会議[トークイベント]

(日時:平成29年11月28日(火)19:30~22:00)

作品制作に向けたリサーチ・プロジェクトの一環として、西京市の地図制作のためのトークイベントを谷中の最小複合文化施設 HAGISO で実施。地理・都市学に詳しいゲスト古橋大地さんと枝久保達也さん呼び、都市の成り立ちについて、空想都市についてトークを行いました。

当日は、参加者からの意見も募り、様々な角度・視点から新しい空想地図を検討していきました。



■キックオフイベント Fiction インフォメーションセンター

(日時:平成30年3月20日(火)17:00~22:00)

作品「空想型芸術祭 Fiction 東京/西京」の公開とともに、その作品の体験方法やコンセプトを説明するため、インフォメーションセンター(案内所)を開設。一日限定のお披露目イベントを谷中銀座近くにひっそり佇んでいるTAYORIというお惣菜・お弁当・珈琲のお店を会場に実施しました。

芸術祭や観光案内所のインフォメーションセンターを模した形式で、来場者に作品の体験方法を案内する他、空想型芸術祭『Fiction』のコンセプトの説明や空想地図について、居間 theater メンバー・地理人自らレクチャーを行いました。



インフォメーションセンターでの過ごし方



(↑)まずは、インフォメーションに常駐する受付嬢から、概要の説明と体験用のポストカードを入手します。ポストカードは、2017年度の成果物の1つです。東京と西京で表裏になっており、どちらが現実・空想か一目では分からないようになっています。



(←)Fictionについて知ろう!のコーナー
作品のコンセプトやベースになった考え方、台東区でのリサーチの記録などを説明。

体験コーナー(↓)
Web サイトへのアクセス方法や使い方を案内。スタートガイドや作品の一部を実際に体験してもらいました。

空想都市について知ろう!のコーナー(→)
地理人による空想都市解説コーナー。西京市や空想地図について、初歩的などころから玄人向けまで、来場者に合わせて説明。

その他:ドリンクコーナー、投書箱(↓)
トークスペースとして、作品へのフィードバック、創作の過程などを参加者と共有するほか、作品への意見を募る投書箱も設置しました。



1日限定のお披露目イベントは、盛況のうちに終了しました。
今後は、更なるリサーチを行い、音声作品の追加等を行いながら、継続的に展開していく予定です。